平成２８年１月２２日

広　報　資　料
（府　同　時）

総　合　企　画　局
（担当：総合政策室(222-3033)
情報化推進室情報統計担当(222-3216)）

平成２７年国勢調査による京都市の人口（速報）について

平成27年10月1日現在で実施された国勢調査の結果について，総務省統計局による速報値の公表に先立ち，京都市で行った人口及び世帯数の独自集計結果を取りまとめましたのでお知らせします。

１　結果の概要

（１）全市の結果　－人口が５年前から増加－

京都市の人口は1,474,570人，世帯数は705,758世帯となっています。

前回平成22年国勢調査結果と比べると，人口は555人増（前回調査と比べて0.04％増），世帯は24,177世帯増（同3.5％増）となりました。

表－１　人口及び世帯数の概要

（単位　人口＝人，世帯数＝世帯）

	平成27年（速報値）	平成22年（確定数）	増減	
			実数	率（%）
人口総数	1,474,570	1,474,015	555	0.04
世帯数	705,758	681,581	24,177	3.5

（２）行政区別の結果　－５行政区で人口が増加－

行政区別に人口をみると，最も多いのは伏見区で280,663人，次いで右京区の204,171人，左京区の168,435人の順となっています。また，世帯数をみると，同じく最も多いのは伏見区で125,286世帯，次いで右京区の94,386世帯，左京区の83,467世帯の順となっています。

前回平成22年国勢調査結果と比べると，人口が最も増加したのは中京区で3,999人増（前回調査と比べて3.8％増），次いで下京区の3,488人増（同4.4％増），上京区の1,675人増（同2.0％増），右京区の1,228人増（同0.6％増），南区の1,115人増（同1.1％増）の順となり，この5行政区で人口が増加しました。

また，世帯数は，すべての行政区で増加しました。

表－２　行政区別人口及び世帯数

	平成27年				平成22年		増減率（%）	
	人口（人）			世帯数（世帯）	人口（人）	世帯数（世帯）	人口	世帯数
	総数	男	女		総数			
京都市	1,474,570	699,297	775,273	705,758	1,474,015	681,581	0.0	3.5
北区	119,537	56,995	62,542	56,885	122,037	56,406	△ 2.0	0.8
上京区	84,939	39,102	45,837	46,745	83,264	43,389	2.0	7.7
左京区	168,435	81,395	87,040	83,467	168,802	82,067	△ 0.2	1.7
中京区	109,305	50,431	58,874	59,194	105,306	55,772	3.8	6.1
東山区	38,905	16,653	22,252	21,393	40,528	21,114	△ 4.0	1.3
山科区	135,192	64,098	71,094	60,492	136,045	58,321	△ 0.6	3.7
下京区	82,775	38,007	44,768	47,257	79,287	43,651	4.4	8.3
南区	99,859	49,592	50,267	47,186	98,744	45,036	1.1	4.8
右京区	204,171	96,631	107,540	94,386	202,943	90,808	0.6	3.9
西京区	150,789	72,002	78,787	63,467	152,974	61,420	△ 1.4	3.3
本所	98,588	47,442	51,146	42,623	97,947	40,801	0.7	4.5
洛西	52,201	24,560	27,641	20,844	55,027	20,619	△ 5.1	1.1
伏見区	280,663	134,391	146,272	125,286	284,085	123,597	△ 1.2	1.4
本所	166,362	80,361	86,001	72,585	167,819	71,514	△ 0.9	1.5
深草	61,771	29,952	31,819	30,394	61,678	29,605	0.2	2.7
醍醐	52,530	24,078	28,452	22,307	54,588	22,478	△ 3.8	△ 0.8

２　人口増の要因と傾向

（１）「住みたいまち」「子育てしたいまち」「働きたいまち」としての魅力向上

①景観政策，観光振興，文化首都・京都の実現を目指す取組等による都市格向上の結果，「住みたいまち」としての魅力が向上

②保育所・学童クラブの待機児童ゼロの継続，地域に根ざした教育の実施等の子育て環境の充実による「子育てしたいまち」としての魅力が向上

③伝統産業の振興や知恵産業の創造をはじめ市内中小企業の下支えと成長支援による安定した雇用の創出など「働きたいまち」としての魅力が向上

したことが人口増の要因となったと考えられます。

ア　平成２３年以降続く転入超過の傾向

住民基本台帳による転入転出者数は，平成 23 年に転入超過に転じ，以降毎年超過数が増加しています。直近 10 年では，平成 19 年に「約 3,600 人の転出超過」でしたが平成 27 年には「約 3,770 人の転入超過」に拡大し，**23 年からの累計では約 11,600 人の転入超過となっています。**

（人）

	平成22年	23年	24年	25年	26年	27年※	23-27累計
転入	48,220	49,555	49,640	50,401	50,368	53,067	253,031
転出	△49,131	△48,484	△48,014	△47,957	△47,657	△49,294	△241,406
差	△ 911	1,071	1,626	2,444	2,711	3,773	11,625

※平成 27 年 1 月～12 月の集計数値であり，最新の数値にしています。他の年は前年 10 月～当年 9 月の集計数値です。

イ　出生数 11,000 人台を維持

出生数は 11,000 人台を維持し，平成 27 年は前年に比べ 0.8%増加しました。

	平成 22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年
出生数（人）	11,749	11,474	11,307	11,383	11,194	11,288
対前年比	0.9%	△2.3%	△1.5%	0.7%	△1.7%	0.8%

※各年 1 月～12 月の集計数値

ウ　有効求人倍率は，１．２４まで拡大

京都府の有効求人倍率は，平成 21 年度 0.51 から平成 27 年（11 月）には 1.24 まで拡大しました。

平成 21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年 11 月
0.51	0.59	0.68	0.81	0.94	1.06	1.24

（２）「大学のまち・学生のまち」としての魅力向上

大学の流出防止・市内回帰・市内誘致の取組，学生の主体的な活動の支援などの推進による「大学のまち・学生のまち」としての魅力が向上したことが人口増の要因となったと考えられます。

学生数の増加

市内大学生が 5 年前に比べ 5,000 人以上増加しました。

（人）

平成 22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年	22-27 比
140,016	139,270	139,499	146,528	146,733	145,367	+5,351

※各年 5 月 1 日現在の数値

３　人口推移の概要

（１）「はばたけ未来へ！　京プラン（京都市基本計画）」（平成22年12月策定）の策定に当たって行った推計では，京都市の人口は，平成27年には10年前と比べて**2.5%減少すると推計**（17年147万5,000人→27年143万8,000人）。

（２）しかし，住民基本台帳の異動に基づく昨年9月時点の推計では，**0.5%の減**（146万8,000人）にとどまっていました。

（３）さらに，5年に1回，人口等のより詳細な実態を把握する**国勢調査の，平成27年調査結果に基づいて集計したところ，速報値ではありますが，10年前とほぼ同程度の人口にまで回復しています。**（国勢調査に基づく人口：17年147万5,000人→22年147万4,000人→27年速報値147万5,000人）

４　人口の確定等について

（１）今回公表する集計結果は，本市が独自に集計したものであり，総務省統計局が公表する速報値(2月公表予定，官報に公示）とは異なる場合があります。

（２）今後の公表予定

年齢別など詳細な集計は，総務省から平成28年10月以降に，順次公表される予定です。

また，国の速報値による国勢統計区及び公称町別の世帯数及び人口をまとめた報告書「国勢調査による町別人口」を，平成28年3月末に刊行予定です。